



Intercloud Fabric ファイアウォールのインストール

This chapter contains the following sections:

- [Intercloud Fabric Firewall](#) について, 1 ページ
- [前提条件](#), 2 ページ
- [注意事項と制約事項](#), 2 ページ
- [基本的なトポロジ](#), 3 ページ
- [Intercloud Fabric Firewall のインストール ワークフロー](#), 3 ページ

Intercloud Fabric Firewall について

Intercloud Fabric Firewall (VSG) は、クラウドプロバイダー環境内のセキュアな仮想化データセンターへの信頼できるアクセスを実現する仮想アプライアンスであり、動的なポリシーベースの運用、トランスペアレントモビリティの強化、高密度マルチテナント機能のスケールアウト展開などの要件を満たしています。Intercloud Fabric Firewall では、確立されたセキュリティポリシーによって信頼ゾーンへのアクセスを確実に制御および監視することができます。

Intercloud Fabric Firewall は、ワークロードの仮想化、企業のセキュリティポリシーと業界規制の順守の強化、簡素化されたセキュリティ監査など、さまざまなメリットをもたらします。

また、クラウド環境の仮想マシンを有害なネットワークトラフィックから保護すると共に、Intercloud Fabric Router (CSR) またはクラウド仮想マシンのパブリックインターフェイスを介して仮想マシンへのアクセスを試みる不正なインターネットユーザや、サイト間のセキュアトンネルを介してアクセスを試みる不正な内部ユーザからも保護します。

Intercloud Fabric Firewall を展開することで、顧客はプライベートクラウドのセキュリティポリシーを拡張して、プロバイダークラウドで実行する各自のアプリケーションワークロードを保護することができます。さらに、Intercloud Fabric Firewall は、Intercloud Fabric 環境で3層式アプリケーションをサポートすることによって、仮想マシングループ間の論理的な分離を実現します。

セキュリティ要件に基づいて、仮想マシンを論理グループの一部として定義し、仮想マシングループに Intercloud Fabric Firewall を適用することができます。

前提条件

- Intercloud Fabric Director がインストールされていること。
- インフラストラクチャのセットアップと Intercloud Fabric Cloud のセットアップが完了していること。
- Intercloud Fabric Extender トランク インターフェイスに対してポートグループを使用する場合は、Intercloud Fabric Extender トランク ポートで無差別モードが有効になっていること。
- Intercloud Fabric Extender のトランク インターフェイスにバインドされているポートグループで全 VLAN 範囲が有効になっていること。

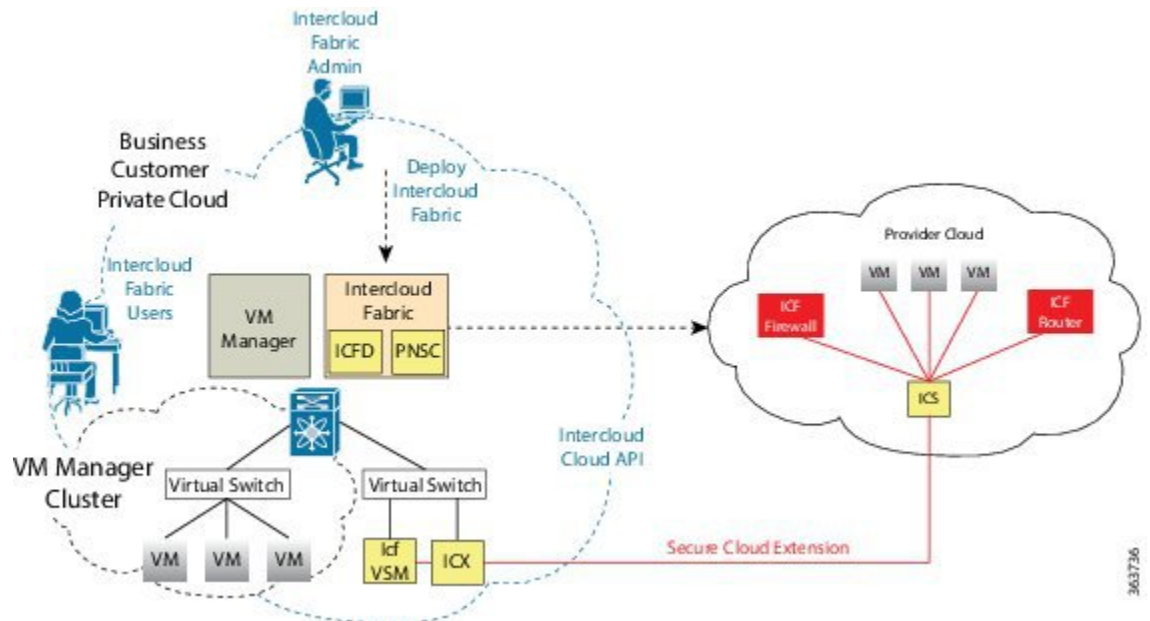
注意事項と制約事項

- Intercloud Fabric Cloud のインスタンスを作成した後で Intercloud Fabric Firewall サービスを追加することもできます。[サービスの管理](#) を参照してください。

基本的なトポロジ

次の図は、Intercloud Fabric Firewall の基本的なトポロジを示しています。

図 1 : *Intercloud Fabric Firewall* の基本的なトポロジ



Intercloud Fabric Firewall のインストール ワークフロー

Intercloud Fabric Firewall のインストール ワークフローには以下の手順が含まれます。

手順

- ステップ 1 Intercloud Fabric から Intercloud Fabric Firewall テンプレートとサービス インターフェイスを作成する。
 - Intercloud Fabric Cloud の作成時にサービスを有効化する場合、[Intercloud Fabric Cloud の作成](#) を参照してください。
 - Intercloud Fabric Cloud の作成時にサービスを有効化しなかった場合は、[サービスの管理](#) を参照してください。
- ステップ 2 Intercloud Fabric Firewall をインスタンス化する。
[Intercloud Fabric Firewallのインスタンス化](#)、[\(15 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 3 コンピュートセキュリティ プロファイルを設定する。

[コンピュータセキュリティプロファイルの設定, \(17 ページ\)](#) を参照してください。

- ステップ 4** サービス パスを作成する。
[を参照してください。](#)
- ステップ 5** ポート プロファイルにサービス パスをバインドする。
[ポート プロファイルへのサービス パスのバインド, \(21 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 6** クラウド仮想マシンのポート プロファイルを編集して、ファイアウォール サービスを有効化する。
[Intercloud Fabric Firewall 用のポート プロファイルの編集, \(22 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 7** インストールを確認する。
[Intercloud Fabric Firewall のインストールの確認, \(23 ページ\)](#) を参照してください。
-

Intercloud Fabric Cloud の作成

Intercloud Fabric Cloud を作成するには、次の手順を実行します。

はじめる前に

- プロバイダー アカウントを作成しておきます。
- クラウドプロバイダーの資格情報を確認します。
- icfTunnelNet という名前のトンネル ネットワークを作成しておきます。
- インフラストラクチャ コンポーネント (PNSC、Intercloud Fabric VSM など) をインストールしておきます。
- Cisco Nexus 1000V、VMware vSwitch、VMware VDS、Microsoft Hyper-V スイッチなど、分散仮想スイッチのポート プロファイルをプライベートクラウドに設定しておきます。
- デバイスプロファイル、MAC プール、トンネルプロファイル、スタティック IP グループなど、Intercloud Fabric インフラストラクチャのポリシーを作成しておきます。
- プライベートクラウドで Cisco Nexus 1000V を使用する場合は、Intercloud Fabric に Cisco Nexus 1000V スイッチを追加しておきます。 [ネットワーク要素の追加](#) を参照してください。
- 拡張を要するネットワークに必要な VLAN を Intercloud Fabric Extender トランク ポート プロファイルに設定します。
- サービスを管理するためのサービス バンドルをアップロードしておきます。 [Intercloud] > [Infrastructure] > [Upload Services Bundle] の順に選択し、サービス バンドルをアップロードします。



(注) Intercloud Fabric Router (Integrated)を管理するためのサービスバンドルをアップロードする必要はありません。

手順

- ステップ 1** Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2** [Intercloud] > [IcfCloud] の順に選択します。
- ステップ 3** [IcfCloud] ウィンドウで、[IcfCloud] タブを選択します。
- ステップ 4** [IcfCloud] タブで、[Setup] ボタンをクリックします。
[Cloud Setup] ウィザードが表示されます。
- ステップ 5** [Account Credentials] の次のフィールドに値を入力します。
(注) 次の表のフィールドの多くは、新しいプロバイダー アカウントの作成を選択した場合にのみ表示されます。また、表示されるフィールドはプロバイダーに固有のものであります。

名前	説明
[Cloud Name] フィールド	Intercloud Fabric Director で作成した仮想アカウントの名前。この名前には、ハイフン、下線、ピリオド、コロンを含めて、1～16文字の英数字を指定することができます。オブジェクトの作成後は、この名前は変更できません。
[Cloud Type] ドロップダウン リスト	プロバイダークラウドのタイプを選択します。
[Provider Account] ドロップダウン リスト	既存のプロバイダーを選択するか、新しいプロバイダーアカウントを作成することを選択します。 選択したプロバイダーアカウントに基づいて、該当するフィールドが表示されます。
[Provider Account Name] フィールド	プロバイダー アカウントの名前。
[Access ID] フィールド	アカウントの所有者を識別する英数字のテキスト文字列。
[Access Key] フィールド	アカウントの一意のキー。
[URI] フィールド	アカウントの一意のリソース識別子。
[Username] フィールド	ユーザ名。

名前	説明
[Password] フィールド	パスワード。
[Validate Credentials] ボタン	資格情報を検証する場合にクリックします。残りのフィールドに入力するには、資格情報を検証する必要があります。
[Location] ドロップダウン リスト	プロバイダー クラウドの場所を選択します。
[Provider VPC] ドロップダウン リスト	プロバイダー クラウドのプロバイダー VPC を選択します。
[Provider Private Subnet] ドロップダウン リスト	プロバイダー クラウドのプロバイダー プライベート サブネットを選択します。

ステップ 6 [Next] をクリックします。

ステップ 7 [Configuration Details] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
Network Configuration	[Advanced] チェックボックスをクリックして新しいポリシーを作成するか、[Next] をクリックしてデフォルト値で続行します。
[MAC Pool] ドロップダウン リスト	デフォルトまたは既存の MAC プールを選択するか、新しい MAC プールを作成することを選択します。 新しい MAC プールの作成については、 MAC アドレス プールの追加 を参照してください。
[Tunnel Profile] ドロップダウン リスト	デフォルトまたは既存のトンネルプロファイルを選択するか、新しいトンネルプロファイルを作成することを選択します。 新しいトンネルプロファイルの作成については、 トンネルプロファイルの設定 を参照してください。
[IP Group] ドロップダウン リスト	デフォルトまたは既存の IP グループを選択するか、新しい IP グループを作成することを選択します。 新しい IP グループの作成については、 IP グループの追加 を参照してください。

名前	説明
[Private Subnet] ドロップダウン リスト	<p>デフォルトまたは既存のプライベートサブネットを選択するか、プライベートサブネットを作成することを選択します。</p> <p>新しいプライベートサブネットの作成については、プライベートサブネットの追加 を参照してください。</p>
サービス	
[ICF Firewall (VSG)] チェックボックス	<p>Intercloud Fabric Firewall (VSG) テンプレートを作成するには、[ICF Firewall] チェックボックスをオンにします。</p> <p>サービスを選択すると、そのサービスのテンプレートをこのクラウドで利用できるようになります。サービスを設定するには、PNSCを使用します。</p> <p>Intercloud Fabric ファイアウォールのインストール, (1 ページ) を参照してください。</p>
[ICF Router (Integrated)] チェックボックス	<p>Azure クラウドでのみサポートされます。</p> <p>関連する Intercloud Fabric Cloud インスタンスで [ICF Router (Integrated)] インスタンスを作成するには、[ICF Router (Integrated)] チェックボックスをオンにします。</p> <p>[ICF Router (Integrated)] をインスタンス化した後、それを Prime Network Services Controller で設定できます (Intercloud Fabric Router (Integrated) のインストールと設定に関するワークフロー を参照)。</p>
[ICF Router (CSR)] チェックボックス	<p>Intercloud Fabric Router (CSR) テンプレートを作成するには、[ICF Router (CSR)] チェックボックスをオンにします。</p> <p>サービスを選択すると、そのサービスのテンプレートをこのクラウドで利用できるようになります。サービスを設定するには、PNSCを使用します。</p> <p>Intercloud Fabric Router (CSR) のインストールと設定 を参照してください。</p>

名前	説明
[Cloud Services Router (CSR) Management VLAN] フィールド	<p>Intercloud Fabric Router (CSR) の管理 VLAN ID を入力します。</p> <p>この VLAN は、Intercloud Fabric Router (CSR) を管理するために使用されます。このプロパティを選択できるようにするには、[ICF Router (CSR)] チェックボックスをオンにする必要があります。</p>

ステップ 8 [Next] をクリックします。

ステップ 9 [Secure Cloud Extension] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Intercloud Extender Network]	Intercloud Fabric Extender の次のフィールドに値を入力します。
[VM Manager] ドロップダウン リスト	Intercloud Fabric Extender の VM マネージャを選択します。
[Datacenter] ドロップダウン リスト	<p>Intercloud Fabric Extender を展開するデータセンターを選択します。</p> <p>このフィールドは、Microsoft 環境で Intercloud Fabric Cloud を作成する場合には適用できません。</p>
[Data Trunk Network] ドロップダウン リスト	<p>データトラフィックの Intercloud Fabric Extender 上のトランクインターフェイスを選択します。</p> <p>このフィールドは、Microsoft 環境で Intercloud Fabric Cloud を作成する場合には適用できません。</p>
[Management Interface Network] ドロップダウン リスト	<p>データトラフィックの Intercloud Fabric Extender 上の管理インターフェイスを選択します。</p> <p>このフィールドは、Microsoft 環境で Intercloud Fabric Cloud を作成する場合には適用できません。</p>
[Management VLAN] フィールド	<p>管理インターフェイスの VLAN を選択します。この VLAN は、管理 IP プール ポリシーで指定された VLAN と一致させる必要があります。</p>

名前	説明
[Management IP Pool Policy] ドロップダウン リスト	<p>管理インターフェイスの IP プール ポリシーを選択するか、新しい IP プール ポリシーを作成します。</p> <p>新しい IP プール ポリシーの作成については、スタティック IP プール ポリシーの作成 を参照してください。</p> <p>このフィールドは、Microsoft 環境で Intercloud Fabric Cloud を作成する場合には適用できません。</p>
[Separate Mgmt and Tunnel Interface] チェックボックス	<p>管理インターフェイスとトンネルインターフェイスに対して異なる VLAN を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにしない場合は、デフォルトで、トンネルインターフェイスと管理インターフェイスに同じ VLAN が使用されます。</p> <p>このプロパティを選択できるようにするには、[Advanced] チェックボックスをオンにする必要があります。</p> <p>このフィールドは、Microsoft 環境で Intercloud Fabric Cloud を作成する場合には適用できません。</p>
[Tunnel Interface Network] ドロップダウン リスト	<p>データ トラフィックの Intercloud Fabric Extender 上のトンネルインターフェイスを選択します。</p> <p>このドロップダウン リストは、[Separate Mgmt and Tunnel Interface] チェックボックスを選択した場合にのみ表示されます。</p> <p>このフィールドは、Microsoft 環境で Intercloud Fabric Cloud を作成する場合には適用できません。</p>

名前	説明
[Tunnel VLAN] フィールド	<p>トンネル インターフェイスの VLAN を選択します。</p> <p>このフィールドは、[Separate Mgmt and Tunnel Interface] チェックボックスを選択した場合にのみ表示されます。</p> <p>このフィールドは、Microsoft 環境で Intercloud Fabric Cloud を作成する場合には適用できません。</p>
[Tunnel IP Pool Policy] ドロップダウン リスト	<p>トンネル インターフェイスの IP プール ポリシーを選択するか、新しい IP プール ポリシーを作成します。</p> <p>新しい IP プール ポリシーの作成については、スタティック IP プール ポリシーの作成 を参照してください。</p> <p>このドロップダウン リストは、[Separate Mgmt and Tunnel Interface] チェックボックスを選択した場合にのみ表示されます。</p> <p>このフィールドは、Microsoft 環境で Intercloud Fabric Cloud を作成する場合には適用できません。</p>
[Intercloud Extender Placement / Association]	
[ICX] ドロップダウン リスト	<p>(Microsoft 環境のみ) Intercloud Fabric Extender のホストを選択します。</p> <p>[Primary Intercloud Extender] と [Secondary Intercloud Extender] のデータストアを指定するには、[Advanced] チェックボックスをオンにして、次に [High Availability] チェックボックスをオンにします。</p>

名前	説明
[Host] ドロップダウン リスト	<p>Intercloud Fabric Extender のホストを選択します。</p> <p>ハイアベイラビリティ構成の場合は、[Advanced] チェックボックスをオンにしてから、[High-Availability] チェックボックスをオンにして、[Primary Intercloud Extender] と [Secondary Intercloud Extender] のホストを指定します。</p> <p>このフィールドは、Microsoft 環境で Intercloud Fabric Cloud を作成する場合には適用できません。</p>
[Datastore] ドロップダウン リスト	<p>Intercloud Fabric Extender のデータストアを選択します。</p> <p>ハイアベイラビリティ構成の場合は、[Advanced] チェックボックスをオンにしてから、[High-Availability] チェックボックスをオンにして、[Primary Intercloud Extender] と [Secondary Intercloud Extender] のデータストアを指定します。</p> <p>このプロパティを選択できるようにするには、[Advanced] チェックボックスをオンにする必要があります。</p> <p>このフィールドは、Microsoft 環境で Intercloud Fabric Cloud を作成する場合には適用できません。</p>
[Intercloud Switch Network]	<p>クラウドの Intercloud Fabric スイッチに対して次のフィールドに値を入力します。</p> <p>このプロパティを選択できるようにするには、[Advanced] チェックボックスをオンにする必要があります。</p>
[Management VLAN] フィールド	管理インターフェイスの VLAN を選択します。
[Management IP Pool Policy] ドロップダウン リスト	<p>管理インターフェイスの IP ポリシーを選択するか、新しい IP プールポリシーを作成します。</p> <p>新しい IP プールポリシーの作成については、スタティック IP プールポリシーの作成 を参照してください。</p>

名前	説明
[VSG Service Interface]	このプロパティを選択できるようにするには、[ICF Firewall (VSG)] チェックボックスをオンにする必要があります。 このサービス インターフェイスは Intercloud Fabric Switch で作成され、Intercloud Fabric Firewall のデータ インターフェイスとの通信に使用されます。
[VLAN] フィールド	サービス インターフェイスの VLAN を選択します。この VLAN は Intercloud Fabric Switch と Intercloud Fabric Firewall 間の通信に使用され、他の VLAN から完全に隔離されたプライベート VLAN の場合もあります。
[IP Pool Policy] ドロップダウン リスト	サービス インターフェイスの IP ポリシーを選択するか、新しい IP プール ポリシーを作成します。
[VSG Management]	このプロパティを選択できるようにするには、[ICF Firewall (VSG)] チェックボックスをオンにする必要があります。
[VSG Management VLAN] フィールド	管理インターフェイスの VLAN を選択します。この VLAN は Intercloud Fabric Firewall を管理するために使用されます。

- ステップ 10** [Next] をクリックします。
[Summary] ウィンドウに Intercloud Fabric Cloud のサマリーが一覧表示されます。
- ステップ 11** [Submit] をクリックして、Intercloud Fabric Cloud を作成します。
- ステップ 12** タスクの状態を表示するには、[IcfCloud] タブで、タスクのサービス リクエスト番号を検索します。
- ステップ 13** [Organizations] > [Service Requests] の順に選択します。
- ステップ 14** [Service Request] タブを選択します。サービス リクエスト番号を検索するか、検索フィールドにサービス リクエスト番号を入力します。
- ステップ 15** [View] をクリックして、ワークフローステータス、ログ、入力情報など、サービス リクエストの詳細情報を表示します。

サービスの管理

Intercloud Fabric Cloud の作成後にサービスを管理するには、次の手順を実行します。

はじめる前に

- Intercloud Fabric Cloud を作成しておきます。
- サービスを管理するためのサービス バンドルをアップロードしておきます。 [Intercloud] > [Infrastructure] > [Upload Services Bundle] の順に選択し、サービス バンドルをアップロードします。



(注) Intercloud Fabric Router (Integrated)を管理するためのサービス バンドルをアップロードする必要はありません。

手順

- ステップ 1** Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2** [Intercloud] > [IcfCloud] の順に選択します。
- ステップ 3** [IcfCloud] ウィンドウで、[IcfCloud] タブを選択します。
- ステップ 4** IcfCloud を選択し、[Manage Services] をクリックします。
[Manage Services] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** [Manage Services] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[ICF Firewall] チェックボックス	Intercloud Fabric Firewall (VSG) テンプレートを作成するには、[ICF Firewall] チェックボックスをオンにします。
[Service Interface VLAN] フィールド	このサービス インターフェイスは Intercloud Fabric Switch で作成され、Intercloud Fabric Firewall のデータ インターフェイスとの通信に使用されます。 サービス インターフェイスの VLAN。この VLAN は Intercloud Fabric Switch と Intercloud Fabric Firewall 間の通信に使用され、他の VLAN から完全に隔離されたプライベート VLAN の場合もあります。 このフィールドは、[ICF Firewall] チェックボックスを選択した場合にのみ表示されます。

名前	説明
[Service Interface IP Pool Policy] ドロップダウンリスト	<p>サービス インターフェイスの IP ポリシーを選択するか、新しい IP プール ポリシーを作成します。</p> <p>新しい IP プール ポリシーの作成については、スタティック IP プール ポリシーの作成 を参照してください。</p> <p>このフィールドは、[ICF Firewall] チェックボックスを選択した場合にのみ表示されます。</p>
[VSG Management VLAN] フィールド	<p>管理インターフェイスの VLAN。この VLAN は Intercloud Fabric Firewall を管理するために使用されます。</p> <p>このフィールドは、[ICF Firewall] チェックボックスを選択した場合にのみ表示されます。</p> <p>(注) ファイアウォール管理ポートプロファイルは、Intercloud Fabric Cloud の作成時に Intercloud Fabric Firewall サービスを選択すると自動的に作成されます。Intercloud Fabric Cloud の名前は、プレフィックスとしてポートプロファイルの名前に追加され、VLAN ID はサフィックスとしてポートプロファイルの名前に追加されます。例： icf-amz1_VSG_Management_72</p>
[ICF Router (CSR)] チェックボックス	Intercloud Fabric Router (CSR) のテンプレートを作成するには、[ICF Router (CSR)] チェックボックスをオンにします。
[CSR Management VLAN]	<p>Intercloud Fabric Router (CSR) の管理 VLAN ID を入力します。</p> <p>このフィールドは、[ICF Router (CSR)] チェックボックスを選択した場合にのみ表示されます。</p>
[ICF Router (Integrated)] チェックボックス	ICF ルータ (統合型) を作成するには、[ICF Router (Integrated)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 6 [Submit] をクリックします。

Intercloud Fabric Firewallのインスタンス化

Intercloud Fabric Cloud を設定して Intercloud Fabric Firewallテンプレートを導入すると、PNSC からインスタンス化できるようになります。 Intercloud Fabric Firewall, をインスタンス化するには、次の作業を実行します。

Before You Begin

次の条件が満たされていることを確認します。

- Intercloud Fabric Cloudを作成して設定した。
- Intercloud Fabric Firewall テンプレートを導入した。

Procedure

- Step 1** Intercloud Fabricにログインします。
- Step 2** [Intercloud] > [Infrastructure]の順に選択します。
- Step 3** [Infrastructure] タブで、[Launch PNSC] Launch PNSCボタンをクリックします。PNSC GUI が表示されます。
- Step 4** [Resource Management] タブをクリックします。
- Step 5** ルート構造をナビゲートして、インスタンス化するテナントを選択しますIntercloud Fabric Firewall。
- Step 6** [tenant] ペインで、[Actions] ドロップダウンリストから [Add Compute Firewall] を選択します。
- Step 7** [Add Compute Firewall] ダイアログ ボックスで、次を入力します。

Name	Description
[Name]フィールド	Intercloud Fabric Firewallの名前。
[Description] フィールド	Intercloud Fabric Firewallの説明。
[Host Name]フィールド	Intercloud Fabric Firewallのホスト名。

- Step 8** [Select] をクリックしてデバイス プロファイルを選択し、[OK] をクリックします。
- Step 9** [Next] をクリックします。
- Step 10** [Select Service Device] ページで、[Instantiate in Cloud] オプションを選択します。
- Step 11** リストから Intercloud Fabric Firewall テンプレートを選擇します。
- Step 12** [VM Access] セクションで、管理者アクセス用のパスワードを入力して確認します。
- Step 13** [Next] をクリックします。
- Step 14** [VPC] ページの [Select Intercloud Link] セクションで、適切な Intercloud Fabric Cloud をナビゲートして選擇します。
- Step 15** [Next] をクリックします。
- Step 16** [Configure Service VM Interfaces] ページで、[Add Interface] をクリックします。
- Step 17** [Add Interface] ダイアログ ボックスで、インターフェイス タイプとして [Management] を選擇し、次の詳細を入力します。

Name	Description
[IP Address] フィールド	管理インターフェイスの IP アドレス。
[Subnet] フィールド	管理インターフェイスのサブネット マスク。
[Gateway] フィールド	管理インターフェイスのゲートウェイ。
[Port Group] ドロップダウン リスト	<p>Intercloud Fabric から作成したファイアウォール管理ポート プロファイル。</p> <p>Note ファイアウォール管理ポート プロファイルは、Intercloud Fabric から自動的に作成されます。Intercloud Fabric Cloud の名前はプレフィックスとしてポート プロファイルの名前に追加され、VLAN ID はサフィックスとしてポート プロファイルの名前に追加されます。例： icf-amz1_VSG_Management_72</p>

- Step 18** [OK] をクリックして、[Add Interface] ダイアログ ボックスを閉じます。
- Step 19** [Configure Service VM Interfaces] ページで、[Add Interface] をクリックします。
- Step 20** [Add Interface] ダイアログ ボックスで、インターフェイス タイプとして [Data] を選擇し、次の詳細を入力します。

Name	Description
[IP Address] フィールド	データ インターフェイスの IP アドレス。
[Subnet] フィールド	データ インターフェイスのサブネット マスク。

Name	Description
[Port Group] ドロップダウン リスト	<p>Intercloud Fabricから作成したファイアウォールデータ ポート プロファイル。</p> <p>Note ファイアウォールデータ ポート プロファイルは、Intercloud Fabricから自動的に作成されます。Intercloud Fabric Cloudの名前はプレフィックスとしてポート プロファイルの名前に追加され、VLAN ID はサフィックスとしてポート プロファイルの名前に追加されます。例：icf-amz1_VSG_Data_710</p>

Step 21 [OK] をクリックします。

Step 22 [Next] をクリックします。

Step 23 [Summary] ページで詳細を確認し、[Finish] をクリックして Intercloud Fabric Firewallをインスタンス化します。

コンピュータセキュリティ プロファイルの設定

Cisco Prime Network Services Controller (PNSC) では、テナント レベルでコンピュータセキュリティ プロファイルを作成することができます。

手順

- ステップ 1 Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2 [Intercloud] > [Infrastructure] の順に選択します。
- ステップ 3 [Infrastructure] タブで、[Launch PNSC] ボタンをクリックします。
PNSC GUI が表示されます。
- ステップ 4 PNSC GUI で、[Policy Management] > [Service Profiles] > [root] > [tenant] > [Compute Firewall] > [Compute Security Profiles] の順に選択します。
- ステップ 5 [General] タブで、[Add Compute Security Profile] をクリックします。
- ステップ 6 [Add Compute Security Profile] の次のフィールドに値を入力します。

(注) 次の属性は Intercloud Fabric にのみ対応しています。

- VM name
- Port profile name
- Operating system name
- User-defined (custom)

表 1: [General] タブ

フィールド	説明
Name	プロファイル名。識別子として 2～32 文字を使用できます。ハイフン、下線、ピリオド、コロンを含む英数字を使用できます。保存後は、この名前を変更できません。
Description	プロファイルの簡単な説明。識別子として 1～256 文字を使用できます。ハイフン、下線、ピリオド、コロンを含む英数字を使用できます。
Policy Set	ポリシーセットのドロップダウンリスト。
Add ACL Policy Set	このリンクをクリックすると、ACL ポリシーセットを追加できます。
Resolved Policy Set	このリンクをクリックすると、解決されたポリシーセットを編集できます。
[Resolved Policies] 領域	
(Un)assign Policy	このリンクをクリックすると、ポリシーを割り当てまたは割り当て解除できます。
Name	ルール名。
Source Condition	ルールの送信元条件。
Destination Condition	ルールの宛先条件。
Service/Protocol	ルールが適用されるプロトコルまたはサービス。
EtherType	ルールが適用される、カプセル化されているプロトコル。
Action	ルール条件が満たされた場合に実行するアクション。

フィールド	説明
Description	ルールの説明。

表 2 : [Attributes] タブ

フィールド	説明
Add User Defined Attribute	属性を追加するダイアログボックスが開きます。
Name	属性名。
Value	属性値。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

サービスパスの作成

サービスパスを作成するには、次の手順を実行します。



(注) サービスパスではサービスノードを複数回使用できません。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	にログインします。	
ステップ 2	[Intercloud] > [Infrastructure]の順に選択します。	
ステップ 3	[Infrastructure]タブで、[Launch PNSC]ボタンをクリックします。	PNSC GUI が表示されます。
ステップ 4	PNSC GUIで、[Policy Management] > [Service Policies] > [root] > tenant > [Policies] > [Service Path]の順に選択し、[Add Service Path]	
ステップ 5	[Add Service Path] ダイアログボックスで、サービスパスの名前と	

	コマンドまたはアクション	目的	
	説明を入力し、[Add Service Entry]をクリックします。		
ステップ 6	次の詳細を入力します。	名前	説明
		[Service Type]オプション ボタン	サービス タイプを選択します。
		[Service Node]ドロップダウンリスト	既存のサービス ノードを選択するか、新しいサービス ノードを作成します。
		[Name]フィールド	サービス ノードの名前。 このフィールドは、新しいサービス ノードを作成する場合にのみ表示されます。
		[Service Type]オプション ボタン	サービス タイプを選択します。 このフィールドは、新しいサービス ノードを作成する場合にのみ表示されます。
		[Network Service]ドロップダウンリスト	論理サービス デバイスの名前。 このフィールドは、新しいサービス ノードを作成する場合にのみ表示されます。
		[Fail Mode]オプション ボタン	サービス ノードが接続を失った場合に実行するアクション。 このフィールドは、新しいサービス ノードを作成する場合にのみ表示されます。
		[Adjacency Type]オプション ボタン	レイヤ 3 隣接タイプを選択します。 このフィールドは、新しいサービス ノードを作成する場合にのみ表示されます。

	コマンドまたはアクション	目的		
		<table border="1"> <tr> <td>[Service Profile] ドロップダウンリスト</td> <td>サービス プロファイルを選択します。 サービス プロファイルは、サービス パスを使用しているトラフィックに適用するポリシーを識別します。</td> </tr> </table>	[Service Profile] ドロップダウンリスト	サービス プロファイルを選択します。 サービス プロファイルは、サービス パスを使用しているトラフィックに適用するポリシーを識別します。
[Service Profile] ドロップダウンリスト	サービス プロファイルを選択します。 サービス プロファイルは、サービス パスを使用しているトラフィックに適用するポリシーを識別します。			
ステップ 1	サービス パスでの必要に応じて、追加のサービス エントリを入力し、[OK]をクリックします。			

ポート プロファイルへのサービス パスのバインド

ポート プロファイルにサービス パスをバインドすると、そのポート プロファイルを使用するすべてのトラフィックが、設定されているサービス パスに従うようになります。

はじめる前に

サービス パスが存在することを確認します。

手順

-
- ステップ 1** Intercloud Fabric にログインします。
 - ステップ 2** [Intercloud] > [Infrastructure] の順に選択します。
 - ステップ 3** [Infrastructure] タブで、[Launch PNSC] ボタンをクリックします。
PNSC GUI が表示されます。
 - ステップ 4** PNSC GUI で、[Resource Management] > [Resources] > [VSMs] > [vsm] > [Edit] の順に選択します。
 - ステップ 5** [Port Profiles] テーブルで、サービス パスをバインドするポート プロファイルを選択し、[Edit] をクリックします。
 - ステップ 6** [Service Path] フィールドで、[Select] をクリックします。
 - ステップ 7** [Select Service Path] ダイアログボックスで、必要なサービス パスを選択し、[OK] をクリックします。
 - ステップ 8** [Edit Port Profile] ダイアログボックスで、[Apply]、[OK] の順にクリックし、変更を適用して保存します。
-

Intercloud Fabric Firewall 用のポート プロファイルの編集

Intercloud Fabric Firewall 用のポート プロファイルを編集するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2 [Intercloud] > [Network] の順に選択します。
- ステップ 3 [All Clouds] ドロップダウン リストからクラウドを選択します。
- ステップ 4 [Port Profile] タブで、ポート プロファイルを選択します。
- ステップ 5 [Edit] ボタンをクリックします。
[Edit Port Profile] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 6 ポート プロファイルの次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[VLAN ID] フィールド	ポート プロファイルの VLAN ID。
[Enable for Services] チェックボックス	サービスに対してポート プロファイルを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。 (注) 管理ポート プロファイルやデータポート プロファイルを作成する場合は、このオプションを選択しないでください。このオプションは、クラウド VM でファイアウォールサービスを有効にする場合にのみ適用できます。
[Org] ドロップダウン リスト	既存の組織を選択するか、新しい組織を作成します。組織とは、IP バインディング情報を保存するための構造です。 <code>orgorg_name</code> コマンドを使用して、Intercloud Fabric Switch (VEM) での IP バインディングの学習を有効にできます。VEM で IP バインディングが学習されると、その情報は PNSC および Intercloud Fabric ファイアウォールに同期されます。 このフィールドは、[Enable for Services] チェックボックスを選択した場合にのみ表示されます。

名前	説明
[New Org Name] フィールド	組織の名前。 このフィールドは、[Enable for Services] チェックボックスを選択した場合にのみ表示されます。

ステップ 7 [Submit] をクリックします。

Intercloud Fabric Firewall のインストールの確認

Intercloud Fabric Firewall のインストールを確認するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Intercloud Fabric にログインします。
 - ステップ 2** [Intercloud] > [Infrastructure] の順に選択します。
 - ステップ 3** [Infrastructure] タブで、[Launch PNSC] ボタンをクリックします。
PNSC GUI が表示されます。
 - ステップ 4** PNSC GUI で、[Resource Management] > [Managed Resources] の順に選択します。
 - ステップ 5** icfCloud を選択し、[Network Services] を選択します。
テーブルで Intercloud Fabric Firewall のインストールのステータスを確認できます。
-

